

予算総額104億1912万円

一般会計予算56億6407万5千円

一般会計歳入

(単位：千円)

項目	予算額	構成比	前年度比較
町税	1,140,026	20.13%	△ 3,536
繰入金	467,140	8.25%	△ 472,643
諸収入	60,968	1.08%	△ 11,402
繰越金	30,000	0.53%	0
分担金及び負担金	77,904	1.38%	△ 2,571
使用料及び手数料	54,912	0.97%	△ 164
財産収入他	15,294	0.27%	1,693
地方交付税	2,410,000	42.55%	80,000
町債	390,100	6.89%	△ 123,500
国庫支出金	315,145	5.56%	△ 25,537
県支出金	410,986	7.26%	36,150
地方譲与税	116,000	2.05%	0
地方消費税交付金他	175,600	3.10%	△ 1,300
合計	5,664,075	100%	△ 522,810

自主財源38.2%

依存財源61.8%

一般会計当初予算額は56億6047万5千円で対前年比8.5%、5億2811万円の減額となっています。減額となった理由は、19年度においては曾於南部畑かん事業国営第一期分償還負担金5億3800万円の支払いがあったためです。

経営方針に「安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、住環境の整備、農業の経営安定対策、福祉・教育環境の整備などに予算の計上が行われております。

特色のあるものとして、本年は鹿児島県で第21回全国健康福祉祭かごしま大会(ねんりんピック鹿児島2008)が開催され、大崎町においては囲碁交流大会が開催されます。実行委員会への開催事業費補助金として736万6千円を交付します。

学校関係では、各学校のパソコンが古くなったため、機器取替えのため、新たにパソコン借上げ料が計上しております。

特別会計

本年度の特別会計予算は、後期高齢者医療制度の創設に伴い、新たに後期高齢者医療特別会計が編成されました。

後期高齢者医療制度は、健康保険法等の一部を改正する法律が施行され、平成20年4月から75歳以上の高齢者を対象に、今までの老人医療制度が後期高齢者医療制度として運営されます。

そのため老人保健特別会計は、前年度に比べ大幅な減額となっています。

また、医療費については、レセプト(診療報酬点数)を基に過去2年間はさかのぼって請求ができるため、予算規模として少なくなりますが、平成22年度頃までは、特別会計として予算が計上されます。

国民健康保険事業特別会計は、医療費の増加や制度改正に伴う歳出増の影響により厳しい運営状況であり、保険税率の見直しも考えていかなければならない状況です。

公共下水道事業特別会計は、昨年に引き続き、大崎クリーンセンターの増設工事と上飯宿地区の汚水管渠工事と併せて高尾・益丸地区64ヘクタールの基本設計も計画しています。